

角野校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成24年8月6日(月) 19:00~20:30
場 所 角野公民館2階大会議室
参加者数 男66人 女8人 合計74人



1 校区設定市政課題

課題名 (老人会について)

討議内容 (要約)

(質問) 平成17年以降、災害復旧を理由に老人会への補助金が大幅に減額され、それ以降各自治会の老人クラブ加入者は減り、校区の連合老人会の退会が進んでいる。少子高齢化が進行している中で、地域コミュニティ活性化のためには老人会の活動を活性化することが必要であり、そのための支援が必要であると思うがどう考えているか。16年以前に補助金を戻す考えはあるのか? 公募補助金でと言うが、高齢者にそれを強いるのは本当に公平か?

(回答) 老人クラブの加入者の減少は補助金だけの問題ではなく、生活が多様化しているという一面もある。老人クラブでの活動だけではなく、自治会としてや、シルバー人材センター、高齢者生きがい創造学園での活動等活動も多様化している。同規模他市との比較を見てもわかるようにこれは全国的な流れ。

また、補助金も、新居浜市の補助金だけでなく、全国的にみても、国、県からの制度補助金32,000円が12,000円に減額になったことも大きい要因である。(資料説明)

しかし、市としては補助金だけでなく、委託料やもっと大きな面では、高齢者医療や介護保険等桁違いの予算を高齢者福祉対策に投入しているし、笑いの介護寄席など、介護予防事業にも力を入れている。公募補助の申請は申請として、現在受付を行っており、補助金以外の施策は、市として当然行っていくというスタンスであり、公募制度がなくなれば、補助金が元に戻るという性格のものではない。

高齢者に、公募補助金の申請のプレゼンをさせるのは冷たいともいわれるが、生きがいや健康づくりの充実という市が行っている施策プラスアルファの部分であり、そこは自主性や自立性を尊重したい。

※ 再検討事項 なし

2 地域課題

課題名（ 角野西南地区土石流対策について ）

質疑応答（要約）

（質問）山根の浸水対策としては、重藪谷川の土石流・流木対策として砂防堰堤建設や堰堤下流の流路改修工事などの整備が行われているが、瑞応寺より西は手つかずの状態である。ここの整備はどうなっているのかについて伺いたい。平成16年度には山田町・篠場町にも山、高速からの出水や篠場配水池の敷地内の雨水排水等で大きな被害があったが、平成16年と同規模の台風が来た場合、同じような被害が出ないか心配である。対策は完了しているのか？

（回答）砂防治山事業は県の事業であり、国領川から尻無川の間山間部においては、平成17年に山根川、平成18～19年度に重藪谷川、平成21年に金毘羅谷川、の各上流に治山ダムを建造していただいたが、以西については未着手である。

治山事業でダムを建造する場合は、建造の土地の問題など地元の御協力が前提として必要。これが得られるようなら事業の実施に向けて県に対して要望したい。

また、市としては山根川から尻無川までの間にある深谷川、山田西谷川、東尻無川は、土石流危険渓流として土砂災害防止法の警戒区域にも指定されていることから、早期の事業化が図られるよう県に対して要望したい。

一方、自治会館南側への排水管敷設については、高速道路下2箇所トンネル部から出てくる水を深谷川へ流すルートで検討し、測量もし、その結果、自治会館南側市道内には篠場配水池への送水管が埋設されていることや、道路の地表勾配の関係から、高速道路路面へ新たな雨水渠を設ける構想としていた。

しかしながら、この構想は、地域の方々が大事に管理されている「あじさいロード」内の樹木や既設水路を広範囲に撤去しなければならず、加えて、高速道路路面内での

工事となり、実施は非常に困難な状況。

このため、現時点では具体的な実施計画までは至っていないが、高速道路下2箇所のトンネル部から出てくる水が多いことは我々も認識しており、既設水路の断面改良などを含め検討したい。併せて側溝の維持管理も十分行っていきたい。

(再質問) 雨水管を埋める話で、あじさいロードの横の水路を拡張してグレーチングをかけて通路を拡張できないか。検討をお願いしたい。

(回答) 断面として幅1m×高さ80cmくらいの水路がほしいが、現実的には難しい。何らかの方法がないかといういろいろ悩んでいる。

※ 再検討事項 なし

課題名 (台風、大雨時の道路冠水、床下浸水の軽減について)

質疑応答 (要約)

(質問) 消防団の活動をしていると、大雨、台風時に降雨量が増えると毎回同じ場所に土嚢を積みに行く。具体的には(西泉～西喜光地)(北内一字)(角野新田1丁目)(山根)等の地域。これらの地域では、大雨降雨時に既存の水路では、水が捌けきらずに毎回のように冠水、浸水が発生している。いつも同じ箇所なので何らかの改善策を実施してほしいが、何か対策はないかお尋ねしたい。

(回答) 今回の公共下水道事業計画区域の拡大で、この地域の雨水対策も行われる(地図で説明)この地域は、汚水はもちろんだが、雨水への対策も行われてくる。

ただ、新居浜市の雨水対策は、平成16年災害で大きな被害があった地域を優先的に進めているので、根本的な対策は雨水施設計画に基づいた計画的な整備として進めていく必要があると考えている。

ご質問のとおり、冠水や浸水の原因のひとつには、宅地化の進行により、周りに比して低い土地が残され、そこが浸水するという問題もある。状況を見ながら部分的な対応でも、できるだけ浸水が解消できるように対応したい。

雨の降る量についての質問があったが、1時間雨量53ミリが基準で雨水整備の計画を整備している。これは全国的な基準であり、1時間通して降るのはそんなに多くない。この基準で全てが整備できると浸水はかなり解消できると考えている。

※ 再検討事項 なし

3 その他 なし